

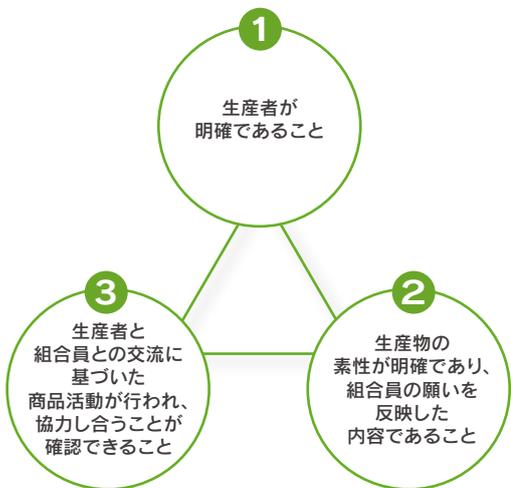


生協の産直は、食の安全を願う組合員と生産者、生協がそれぞれの立場から「生産・利用・交流」を通じて、「ともに育てあう」活動です。県内外の産直生産者と組合員、生協で産直協議会を運営し、安全・安心な食料確保、地産地消、食料自給率向上、環境安全、資源循環など、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることをめざしています。



産直・地産地消

県民せいきょうの産直三原則



産直生産者・団体数

(福井県:60)
(県外 :18)



	18年度	19年度	前年比
産直比率(宅配)	32.8%	31.8%	97.0%
産直比率(店舗)※農産	22.8%	28.0%	122.8%
地産比率	19.4%	18.1%	93.3%



▲信州ハーツの一株ぶなめし

産直協議会の産直交流

産直協議会では、産地見学や出前講座などを通して、生産者と組合員の交流を積極的に行っています。2019年度は、各地区の産直協議会が主体となった交流活動にのべ3,513人の組合員が参加しました。各地域の生産者の声やこだわり、苦労など、生の声を聞くことで商品のファンになり、生産者の顔が見える関係づくりにつながっています。



▲永平寺やさい村で新玉ねぎ収穫体験(第1地区)



▲あさひ愛農園の麺のお話(第2地区)



▲渡辺農園梅もぎ体験(第3地区)

JAとの交流

協同組合間連携の取り組みとしてJA福井県女性組織協議会フレッシュミズ部会との交流会を行いました。



▲JAと生協につながる交流会